

TOEFL Primary® / Junior® の出題内容と  
**高等学校学習指導要領**  
(平成30年告示)  
**外国語編**

**批判的思考 (クリティカルシンキング) の関係性について**

早稲田大学本庄高等学院・教諭 / 早稲田大学情報教育研究所・研究所員  
赤塚 祐哉

はじめに .....	P1
1.リスニング問題と批判的思考 .....	P2
2.リーディング問題と批判的思考 .....	P4
3.TOEFL Primary® / Junior® と 学習指導要領の関係性 .....	P5
4.授業での指導例 .....	P6
5.おわりに .....	P9

【著者プロフィール】

検定教科書外国語『Enrich Learning I』(東京書籍)編集協力者

NHKラジオ高校講座「コミュニケーション英語II」講師

著書に「国際バカロレアの英語教育—世界標準の英語授業とその実践」(松柏社)ほか。



*Danke Sehr*



## はじめに

「批判的思考(クリティカルシンキング)は、本質に迫るための合理的、多面的、省察的、客観的な思考様式で、近年、学校教育で育成する重要性が増しています。例えば、平成29・30年告示の中学校及び高等学校学習指導要領では、生徒に求められる資質・能力の1つとして多面的・多角的な思考の育成について触れ、批判的思考の育成につながる指導の実施が求められています。英語学習の場面では、テキスト(問題文)の目的は何か、事実(fact)と主張(claim)はどれか、行間から読み取れることは何か等を考えながら聞き取ったり、読んだりすることが批判的思考の育成につながると言われています。こうした思考は、生活言語(BICS)よりも、学習言語(CALP)レベルの学習を通して育成される、といった意見もあります<sup>[1]</sup>。CALPとは、授業場面で必要とされる言語能力ですので、TOEFL Primary® / Junior®が対象とする範囲とも符合します。では、批判的思考と

英語熟達度の両方の向上は、授業内で達成可能なのでしょうか。

これまでの研究によって、言語習得と思考の育成は密接な関係にあるとされ、語彙・表現力の習得に留まらず、英語を活用する力にもつながることが示唆されています<sup>[2]</sup>。すなわち、英語ができるようになることと、批判的思考を身につけることは相反するものではなく、英語を通して思考することで、自分の意見・考えを相手に伝えることができるようになる、と考えられます。

そこで本稿ではまず、TOEFL Primary® / Junior®の試験内容と学習指導要領、批判的思考の3つの関係性を確認します。次に、授業場面においてTOEFL Primary® / Junior®を活用した指導をどのように実施するのかを提案します。本稿での授業展開例は主にTOEFL Junior®を受検する層を対象としていますが、TOEFL Primary®の受検層も意識した提案としています。

# 1. リスニング問題と批判的思考

図1はTOEFL Junior®のリスニング出題例です。理科科目を担当する教師が受講生に説明をする、という場面設定がされています。話し手の説明を聞く際には、どの部分が「事実(fact)」なのか、「主張(claim)」なのかを意識することで、批

判的思考につながるとされています。ニュースや新聞記事は事実を中心に構成される一方、講義形式やスピーチといった場面では、事実に加えて主張も組み込まれている場合があります。例えば、図1の下線部[i]は「事実」に該当します。

The students hear:

(Narrator): Listen to a teacher talking in a biology class.

(Woman): We've talked before about how ants live and work together in huge communities. Well, one particular kind of ant community also grows its own food. So you could say these ants are like people—like farmers. And what do these ants grow? They grow fungi. Fungi are kind of like plants—mushrooms are a kind of fungi. These ants have gardens, you could say, in their underground nests. This is where the fungi are grown.

Now, this particular kind of ant is called a leafcutter ant. **Because of their name, people often think that leafcutter ants eat leaves.** If they cut up leaves they must eat them, right? Well, they don't! [i]They actually use the leaves as a kind of fertilizer. Leafcutter ants go out of their nests looking for leaves from plants or trees. They cut the leaves off and carry them underground ... and then feed the leaves to the fungi—the fungi are able to absorb nutrients from the leaves. What the ants eat are the fungi that they grow. In that way, they are like farmers!

[ii]The amazing thing about these ants is that [iii]the leaves they get are often larger and heavier than the ants themselves. If a leaf is too large, leafcutter ants will often cut it up into smaller pieces—but not all the time. Some ants carry whole leaves back into the nest. In fact, some experiments have been done to measure the heaviest leaf a leafcutter ant can lift without cutting it. It turns out, it depends on the individual ant. Some are stronger than others. **The experiments showed that some “super ants” can lift leaves about 100 times the weight of their body!**

(Narrator): Now answer the questions.

図1. TOEFL Junior® リスニング出題例<sup>[3]</sup> (下線・太字・記号は筆者による)

事実とは、科学的な根拠や、個人的に見聞した内容等のことです。

そして講義では、聞き手の興味を引くために、他者の視点（他者がどのように考える傾向があるのか等）を加えることがあります。それが黄色でハイライトした部分 “Because of their name, people often think that leafcutter ants eat leaves” です。この英文の後に、“ Well, they don’t!” と続けることで、聞き手を下線部[i]に注目させようとしています。このように「事実」は他者の視点とセットで用いることで、よりその内容が強調されます。

では、これらの部分に対応した設問はどのようなものでしょうか。図2は、図1を聞き取った後に  
出題される設問の一部です。

What does the teacher say many people think must be true about leafcutter ants?  
(A) They eat leaves.  
(B) They live in plants.  
(C) They have sharp teeth.  
(D) They are especially large.

図2. 設問例①<sup>[3]</sup>

図2の正答は、(A)であると判断できます。このように、他者の視点を紹介した箇所が設問として設定されています。聞き手は話者の意図を把握し、どのような事実を伝えようとしているのかを考えることが、批判的思考につながります。

では、英文中に「主張」はどのように組み込まれるのでしょうか。図1の下線部[ii]は「主張」に

該当します。話し手は “amazing” という個人的な主観を述べ、その後の「事実」を伝えようとしています。図1では、下線部[iii] “the leaves they get are often larger and heavier than the ants themselves” が事実に対応します。そして、そのエビデンスとして水色のハイライト部 “The experiments showed that some “super ants” can lift leaves about 100 times the weight of their body!” が用いられています。このように、話者が強調したい点や大切だと感じている箇所には、主張が組み込まれることが多くあります。では、これらの部分に対応した設問はどのようなものでしょうか。

What did the experiments show about leafcutter ants?  
(A) How fast they grow  
(B) Which plants they eat  
(C) Where they look for leaves  
(D) How much weight they can carry

図3. 設問例②<sup>[3]</sup>

図3では、実験により得られた結果を質問しており、正答は(D)であると判断できます。下線部[ii]と水色のハイライト部は少し離れた場所にあります。下線部[ii]で話者の興味を引きながら、水色のハイライト部のエビデンスにつなげていることが分かります。このように、「事実」は「主張」とともに用いられ、TOEFL Primary<sup>®</sup> / Junior<sup>®</sup>においても、設問内容に反映されていることが分かります。

## 2. リーディング問題と批判的思考

TOEFL Primary® / Junior®で出題されるリーディング問題は、様々なテキストジャンルによって構成されています。例えば、電子メールや手紙、指示・案内文、解説文等といったものです。TOEFL Junior®では図4のような電子メールの形式で書かれた英文が出題されます。

To: Ms. Howell  
From: Annemarie Dah  
Re: This Year's Party  
Sent: March 11, 5:12 P.M.

Dear Ms. Howell,

I hope you don't mind my sending this email, but I wasn't able to stay after school to attend the drama club meeting today. I really apologize, but my ride home was not able to wait.

.....略.....

I can come to the theater tomorrow morning to talk with you if you are unable to answer this e-mail today. Either way, as I am sure you can tell, I am very excited about the play this year.

Sincerely,  
Annemarie

図4. TOEFL Junior®のリーディング問題例  
(出題内容を一部省略)<sup>[4]</sup>

様々な種類のテキストジャンルへの理解は、**広くて深い情報収集能力につながります。こうした情報収集能力は、批判的思考に必須の要素であり<sup>[5]</sup>、情報化社会が進展した今日では、最も重要な能力の1つであるといえます。**図5は、図4に対する設問例です。

Why did the student write the e-mail?  
(A) To request a role in a play  
(B) To find out when a performance will take place  
(C) To accept an invitation to act in a play  
(D) To congratulate a teacher for putting on a play

図5. TOEFL Junior®設問例<sup>[4]</sup>

設問では、電子メールの送信目的が問われており、正答は(A)です。電子メールには、フォーマルなもの、そうでないものに大別されますが、図3では“Dear Ms. Howell,”がgreetingとして用いられていることから、フォーマルな電子メールであることがわかります。フォーマルな電子メールの一般的な特徴として、第1パラグラフに“direct opening”(なぜメールを送付しているのか、目的を明示する)があり、最終パラグラフには“call to action”(受け取り相手にしてもらいたいこと)がある、といった特徴があります。このように、テキストジャンルごとに様々な特徴があることを学ぶことは重要です。そうした学びが、必要な情報を即座に読み取る技能につながり、広く深い情報収集ができる資質・能力の育成につながります。

### 3. TOEFL Primary<sup>®</sup> / Junior<sup>®</sup> と学習指導要領の関係性

TOEFL Primary<sup>®</sup> / Junior<sup>®</sup>を受検させることの意義は何でしょうか。そして、受検に向けた指導は学習指導要領の内容とどの程度符号するのでしょうか。学校での指導にあたっては、学習指導要領の内容を意識し、それを踏まえながら指導することが重要であることは言うまでもありません。

まず、**受検させる意義には大きく2つ**あると考えられます。

①**児童・生徒が現時点での自分の英語熟達度を把握し、今後の英語学習への動機付けを高めたり、方向性を打ち立てたりする、といった形成的評価としての役割。**

②**教師が自分の指導アプローチについて振り返りを行い、今後の教育方法について検討するといった役割。**

TOEFL Primary<sup>®</sup> / Junior<sup>®</sup>のテスト内容や評価は世界基準であるため、**「指導と評価の一体化や個に応じた学び(個別最適化)の実現のために意義がある」**と言えます。

では、学習指導要領との関係性はどうか。筆者は、**授業でTOEFL Primary<sup>®</sup> / Junior<sup>®</sup>受検に特化した特別な指導は不要という立場を取っています。それは、検定教科書や副教材(補助教材)を使用する中で、批判的思考育成を軸**

**にした指導を行うことで、結果としてスコアに結びつくと考えているからです。**先ほど、事実と主張を区別すること、そして様々なテキストジャンルに触れることが批判的思考育成に繋がることを説明しました。事実と主張を区別することについて、**高等学校学習指導要領解説編の外国語科目「英語コミュニケーション・II・III」においては、「論理性に注意するとは、できる限り論理の矛盾や飛躍がないよう、理由は根拠を明らかにするなどして、論理の一貫性に注意することである」<sup>[6]</sup>と説明し、英文を論理的に聞いたり、読んだりする重要性を指摘しています。**

そして様々なテキストジャンルを取り扱うことについては、**「今後のグローバルな情報網の広がりにより、情報収集の方法は一層多様になる」<sup>[6]</sup>とし、スピーチ原稿、電子メール、パンフレットなど様々な形態のテキストを扱うことで生徒にこれらのテキストの理解を促すことの重要性について触れています。**

このように、批判的思考につながる要素は学習指導要領にも明示されています。すなわち、日々の指導の中にこうした内容を組み入れることで、結果としてTOEFL Primary<sup>®</sup> / Junior<sup>®</sup>の対策につながる、といえます。

## 4. 授業での指導例

では、授業ではどのような指導が考えられるでしょうか。TOEFL Junior®の電子メールの題材を例に、提案したいと思います<sup>[注]</sup>。なお、以下の指導例はTOEFL Primary®を受検する生徒にも応用可能ですので、発達段階に応じて、指導アプローチや難易度の調整を行っていただければと思います。

本単元の言語習得上の目標を、「フォーマルな電子メールの形式を理解し、自分で書いてみるができる」とします。単元の構成は全4単位時間扱いとし、①電子メールの構造を理解する時間(1時間目)、②英文読解を中心とした時間(1時間)、③学習者の議論を促すような問いへの応答を中心とした時間(1時間)、④電子メールを実際に書いて、ピアによるレビューを行う時間(1時間)、を設定します。

なお、本稿における指導例は、計4単位時間のうち、最初の1単位時間目を想定した内容としています。

### ①学習の中心となる問いを設定する

***When do we use email? List at least three reasons why we use email.***

といった問いを生徒に投げかけて、本時でめざす学びと、これまでの生活経験を結び付けるような活動を行います。

TOEFL Junior®の受検層で、かつ英語熟達度が高い層であれば、***Let us reflect on your relationships with internet technology. How has email changed the ways in which people interact?*** といった問いを投げかけることもできます。

### ②授業の到達目標を児童・生徒に伝える

生徒に本単元のねらいを伝えます。TOEFL

Junior®の受検層であれば、

***1) Consider how email has changed the ways people interact with each other.***

***2) Explore the components of writing a formal email and compose it with an appropriate tone.***

を伝えます。

### ③英文を読み、構造に対する理解を促す

次に電子メールの構造への理解を促すため、モデルとなる英文を提示する段階に進みます。ただ、その前に、

***Have you ever sent formal emails to someone? What are the essential elements of a formal email? List three essential components of a formal email.***

といった問いを学習者に投げかけ、学習者の知識を活性化させるとよいかと思います。

そして、英文(フォーマルな電子メール)を読み、電子メールの構造を理解する学習を行います。その際、図6に示す補助教材(配布用プリント)を教師が作成し、1)greeting(ここでは、Dear Ms. Howell,が該当)はどれか、2)direct opening(電子メール送信の目的)はどこか、3)concise argument(第2パラグラフ以降の書き手の要旨)は何か、4)call to action(受け手に何をしてほしいのか)はどの部分か、5)salutation(ここではSincerely,が該当)とsignature(ここでは Annemarieが該当)はどれか、をそれぞれ特定させる指導を行います。学習者への質問として、

***Now indicate the features in email and put -a- to -e- in the text'.***

といったものが考えられます。

***Most formal emails contain the following elements in its text:***

**a. Personal greeting**

At the beginning of the email, put receivers' name(s) with a title (if necessary) (Dear Mr./ Ms. , to whom it may concern). No names or beginning with 'Hi' would be informal.

For example, Dear Dr. ... or Ms. or Mr. ... , Dear First Name (if readers are also students or a colleague), To whom it may concern (if you do not know a specific reader)

**b. Direct opening**

The first paragraph could be a direct opening: state your purpose(s) why you are writing an email. Readers may receive many messages in a day or are busy, so you should briefly explain the purpose.

For example, I emailed you to such and such.. I would like you to like such and such.

**c. Concise argument**

The second paragraph could be a concise argument that explains the details. You should try to shorten the paragraph so that readers can understand your arguments.

**d. Clear call to action**

The last paragraph should be a call to action; you should mention what readers should do after reading an email.

For example, I would be happy if you could respond to this message by the next week.

**e. Formal sign off**

Conclude your email with salutation such as 'Kind regards,' and 'Best,' (less formal). Then put your signature after it. In a formal email, full name is required, but signing your first name is acceptable in a less formal situation.

図6. フォーマルな電子メールにおける必要要件の一覧  
(筆者作成)

もし、電子メールに「事実 (fact) と主張 (claim) に該当する部分があれば、該当する文に「f」と「c」といった記号を書かせてもいいかもしれませんが。その際、think-pair-share(ひとりで考えて、ペアで話し合い、クラスメートに共有する)の手法を用いて、学習を深めてもいいかもしれません。

もし時間的な余裕があれば、図7のような補助教材 (配布用プリント) を作成し、フォーマルではない電子メールを読み、どのような改善を加えればフォーマルになるのか、といったことを考えさせることもできます。

***Question : When you send an email to your lecturer for letting him/ her know you will be absent next week due to attending a job interview. Find three major incorrect sentences that do not meet the formal email standard, and state the reasons why they are impolite or not appropriate. After that, compare your answer with your partner, and explain why you chose***



***these sentences.***

-----  
Subject : from Yuki (student number:  
B1W00043)

Date: October 9, 2021 5:21 pm

Dear Harris,

Hello. I am Yuki a fourth-year student at School of Commerce. I will be absent the lesson next week due to the job interview attendance. Please accept my apologies for the delay in informing you know about my absence.

If I need to submit any assignments, please let me know by tomorrow.

Thank you for your consideration.

Cheers,

Yuki

***ideas similar to or different from yours?***

図7. フォーマルではない電子メール例  
(筆者作成)

#### ④振り返りを行う

授業で学んだことを振り返ります。その際に、新たに発見したこと、日常の場面や学校の他の授業の場面でどのように活用できるのかをペアまたはグループで話し合ってもいいかもしれません。問いかけの例として、以下のようなものが考えられます。

***1. What has most influenced your thoughts about the essential elements of a formal email?***

***2. Share your thoughts with your classmates. Are your classmates'***

## 5. おわりに

この冊子では、TOEFL Primary<sup>®</sup> / Junior<sup>®</sup>と批判的思考の関係性、学習指導要領における位置づけ、そして実際の指導について提案してきました。批判的思考を育成することと英語熟達度の向上は自転車の両輪のような関係だと考え

ています。思考が深まれば深まるほど児童・生徒の語彙・表現力は豊かになりますし、自分の意見や考えを言うためには豊かな語彙・表現力が不可欠です。本冊子が普段の授業の参考になれば幸いです。

### 参考文献

- [1] International Baccalaureate Organization.(2014)  
『IBプログラムにおける「言語」と「学習」』参照  
<https://www.ibo.org/globalassets/publications/language-and-learning-in-ib-programmes-jp.pdf>  
(2022年2月3日閲覧)
- [2] Manalo, E., Watanabe, K., & Sheppard, C. (2013). *Do language structure or language proficiency affect critical evaluation?* Retrieved from  
<https://mindmodeling.org/cogsci2013/papers/0531/paper0531.pdf>  
(accessed on February 3,2022)
- [3] Educational Testing Service.(2018). *Handbook for the TOEFL Junior<sup>®</sup> tests*. pp.13-14.  
Retrieved from [https://www.ets.org/s/toefl\\_junior/pdf/toefl\\_junior\\_tests\\_handbook.pdf](https://www.ets.org/s/toefl_junior/pdf/toefl_junior_tests_handbook.pdf)  
(accessed on February 3, 2022)
- [4] グローバル・コミュニケーション&テストイング(2016)『TOEFL Junior<sup>®</sup> Standardテスト公式問題集』くもん出版
- [5] Ennis, R. H.(1987). A taxonomy of critical thinking dispositions and abilities. In J. B. Baron & R. J. Sternberg (Eds.), *Teaching thinking skills: Theory and practice* (pp. 9–26). W. H. Freeman and Company.
- [6] 文部科学省(2018)『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説：外国語編・英語編』文部科学省
- [注] 指導手順は、国際バカロレアの教育方法及びMcTighe, J., & Wiggins,G.P. (2013) *Essential questions : Opening doors to student understanding*. Assn for Supervision & Curriculumを参考にしています。